



2007年5月25日

マスコミ関係者各位

『和英語林集成』と日本を開いた辞書展」を横浜で開催します

日本初の和英（日本語）辞典は、1867年（慶応3）に横浜で発行された J.C.ヘボン『和英語林集成』であり、その日本語記載方法がヘボン式ローマ字です。この辞書は日本人がもっとも真剣に英語を学んだ時代、慶応3年から明治29年まで他の辞書を寄せ付けず使われました。

今回、ヘボン博士の原稿に始まり、30年間に発行された『和英語林集成』7つの版全てを各種エピソードと共に展示します。この全部の版を所有するのは明治学院大学だけです。

同時に、幕府洋学調所発行が英蘭辞典から翻訳し編纂した日本最初の和英辞典『英和対訳袖珍辞書』や、長崎奉行所編纂の『諸厄利亜語林大成』、土佐海援隊画通商目的に発行した『和英通韻以呂波便覧』、福沢諭吉がサンフランシスコで購入し咸臨丸の中でジョン万次郎の発音を書き写して発刊した『改訂増補華英通語』、メドハーストがバタビアで日本人と会うことなく編纂し石版で印刷した『和英・英和辞彙』、日本側ではやはり外国人と全く会わず独学で作上げた村上英俊の『三語便覧』、横浜英学所で教えた石橋政方の『英語箋』など、なかなか目にする事の出来ない貴重な辞書30点以上を展示致します。

この辞書展で、時代を開こうと苦闘・努力した数々の先人の働きを感じて下さい。

期 日： 2007年6月2日（土）・3日（日）午前9時～午後4時（一般公開日）

※当日はコミュニティーフェスティバル「明治学院大学戸塚まつり」を開催中です。

（辞書展は、学内的には6月7日（木）まで行います。）

場 所： 明治学院大学横浜校舎図書館1階（横浜市戸塚区上倉田町1518）

入 場： 無料。どなたでもご来場いただけます。車椅子でのご来場も可能です。

アクセス： 戸塚駅東口バスターミナル8番乗場「明治学院大学南門」行に乗車し約6分
「明治学院大学正門」バス停下車

※駐車場の用意がございませんので、お車でのお越しはご遠慮ください。

問合せ先： 明治学院大学 横浜校舎図書館 Tel 045-863-2037